

# 地域の空き地をまるごと“まちづくり”としてマネジメントしていく取り組み (宍粟市 だんだんの会)

- 遊休農地や低未利用地の状況、空き地所有者の意向等を踏まえて、空き地を活用したまちづくり構想、具体的なマネジメント方針等を検討
- 遊休農地等を活用した綿花栽培に取り組む既存の「コットンプロジェクト」と連動し、地域で「稼ぐ」仕組みづくりを目指す

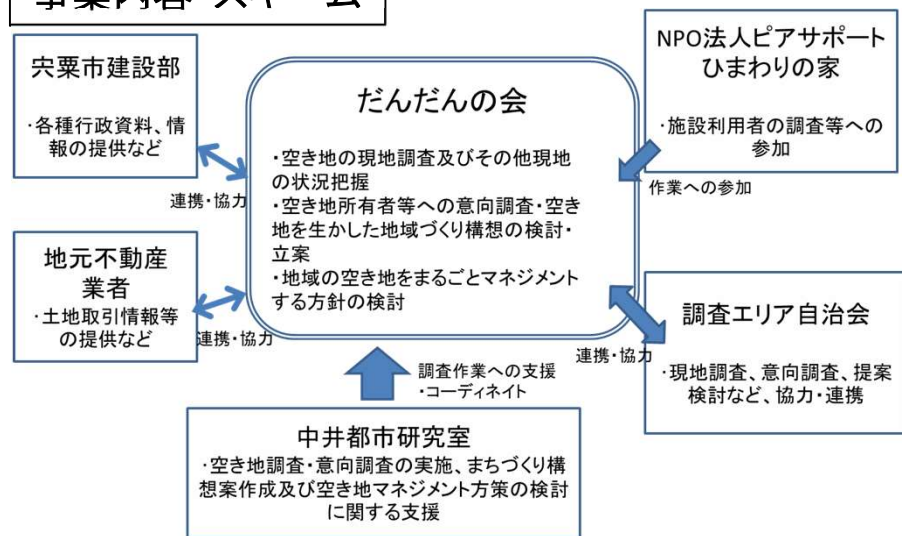
## 背景・課題

土地区画整理事業が解除され、遊休農地、賃貸アパートや太陽光発電パネルの増加等、無秩序な市街地形成が懸念されている。

## 調査目的

地域の遊休農地や低未利用地の状況、空き地所有者の意向等を把握し、空き地を活用した地域づくり構想や具体的なマネジメント方針、実施体制の検討を行う。

## 事業内容・スキーム



## モデル調査の成果

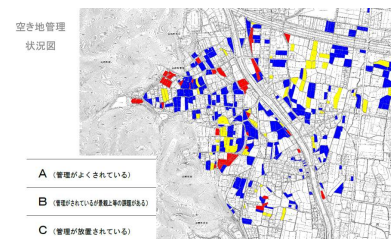
- ・モデル調査を通して、地域の自治会及び宍粟市の取組に対する理解を得るとともに、協力関係を構築することができた。
- ・現在取り組まれている宍粟市都市計画マスタープランの策定と連動しながら、都市マスの地域版としていくことで、空き地利活用の先進事例となることが期待される。
- ・遊休農地を活用して地域で一体となって綿花栽培を進める既存の「コットンプロジェクト」と連動して、自立的に空き地マネジメントを進めていく方向性を地域で協議・合意することができた(2/28と2/29に、地域に向けてコットンプロジェクトの説明会を実施)。



空き地の状況



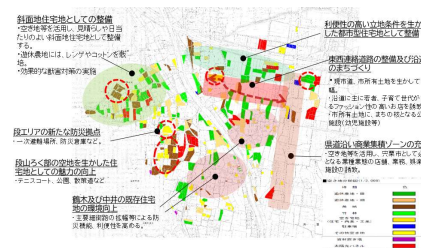
空き地調査の状況



空き地分布の状況



自治会との協議



まちづくり構想の検討



綿花栽培の様子

### ① 空き地の現地調査

・全440筆の現地調査及び空き地管理状況の把握を行った

### ② 空き地所有者への意向調査

・市の協力を得て、440筆の所有者に対してアンケート調査を実施した(空き地となった要因、活用意向等を把握)

### ③ 空き地を生かした地域づくり構想、マネジメント方針の検討

・既存のコットンプロジェクトと連動した、遊休農地や空き地の利活用方針、具体的な実施体制等を検討した